



わかば

2020. 6. 20
(令和2年) 第20-11号

文責 校長 保谷 力

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

教育目標 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

重点目標 一人一人の笑顔輝く学校づくり～期待登校・満足下校～

万事塞翁が馬

校長 保谷 力



3週続けて深夜(日本時間)の終礼に参加しました。小学生低・中学年には自己紹介の前にゲームをしたり、歌を歌ったりしました。子供たちは遊ぶことが大好きで、オンラインでも目を輝かせて「後出しじゃんけんや」「ウルトラマンじゃんけん」を楽しんでくれました。小6、中1の子供たちには、科学のクイズを出し、「どうして、そのように考えるのか」を聞いてみました。全体的に科学はあまり得意ではなかったようですが、最後は問題に対して、なぜそう思うのかをしっかりと説明してくれました。中高生は教えたことがないので少し戸惑いま

したが、ギターで緊張を解した後、中国に伝わる古い話「人間万事塞翁が馬」の話をしました。私たちは新型コロナウィルスと戦いながら、不自由な生活をしていますが「塞翁が馬」のように、苦しく悲しい出来事や経験が、いつの日か喜びにつながることもあることを伝えました。そして最後は、幼稚園の園児とあいさつをしました。一人の男の子から「校長先生って男の先生なんだ。」という声も聞こえました。園児との触れ合い経験はあまりなかったので、ぬいぐるみを使って話をしましたが、やはり準備が足りず楽しんでもらうことは難しかったです。2か月余りが過ぎて、やっとPJSの子供たち429名に会うことができました。日本時間では、真夜中の終礼でしたが、子供たちに新しい校長としてあいさつができたことを大変嬉しく思います。

さて、この新型コロナウィルスによる未知の経験は、私たちの生活に様々な変化を起こしています。その一つにITCを使ったオンライン授業があります。今までにも、こうした取り組みは行われていたものの、特に日本の教育界では敬遠されがちであったように思います。しかし、使用せざるを得ない状況が出来上がって初めて、その有効性が自覚されたと言ってもよいのではないでしょう

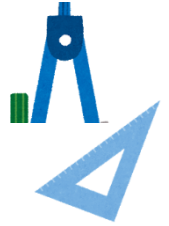
か。現在、日本国内では急速なITC環境の整備が進んでいます。もちろん、教育は人なりという言葉があるように、子供と教師がふれあい語り合いながら学習を進めていくことがベストであることは否めません。しかし、私たちがこのようなノウハウを獲得していくことこそが、次に起こるかもしれない様々な問題に対応できる、柔軟で斬新な姿勢につながって行くのだと考えます。





2020年度小学部で使用するもの

(3月14日付けの“わかば”に掲載したものに、下線の部分が追加されました)



	国語	算数	
1年	8マス 国語ノート	7マス 算数ノート	定規、色鉛筆
2年	12マス(リーダー入り) 国語ノート	17マス(たて型) 算数ノート	定規、三角定規、はさみ、 30cmものさし、のり、 色鉛筆、セロテープ
3年	18マス(リーダー入り) 国語ノート	10mm方眼罫 15X22 ノート	三角定規、コンパス、 国語辞典
4年	12行縦書き国語ノート 100字詰め漢字ノート	10mm方眼罫 15X22 ノート	三角定規、コンパス、 分度器、国語辞典、 漢字辞典(「成り立ち」が書かれて いると使いやすい)
5年	12行縦書き国語ノート 100字詰め漢字ノート	5mm方眼罫 15X22 ノート (10mm実線入り)	三角定規、コンパス、 分度器、国語辞典、 漢字辞典(「成り立ち」が書かれて いると使いやすい)
6年	12行縦書き国語ノート (又はWide Ruledを2冊) 100字詰め漢字ノート	5mm方眼罫 15X22 ノート (10mm実線入り)	三角定規、コンパス、 分度器、国語辞典、 漢字辞典(「成り立ち」が書かれて いると使いやすい)、はさみ

- 辞書については、学校にも備えがありますが、家庭学習に必要になります。
- コンパスは、ねじがしっかりしたものをお選びください。

